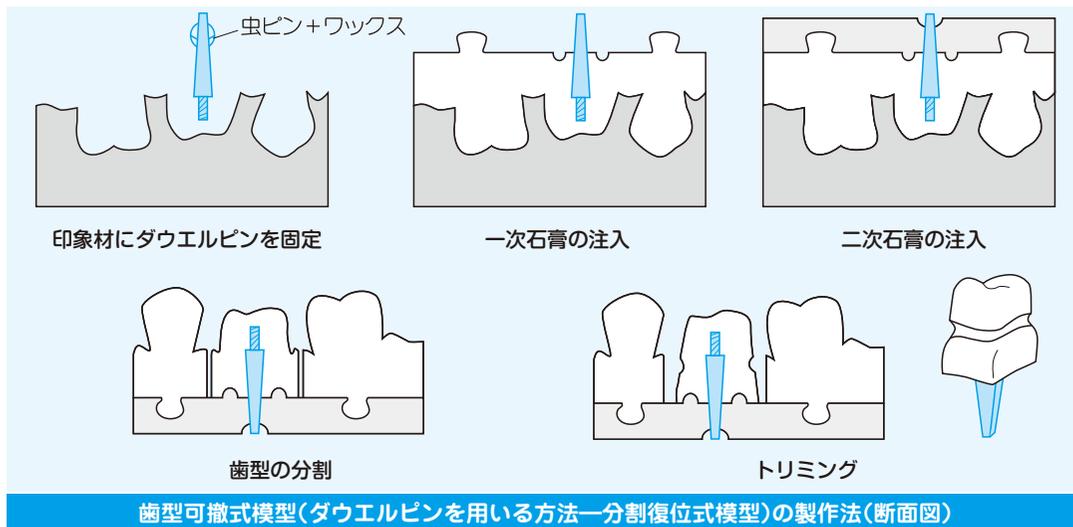


## 歯型可撤式模型の製作法

### 1 ダウエルピンを用いる方法(分割復位式模型)

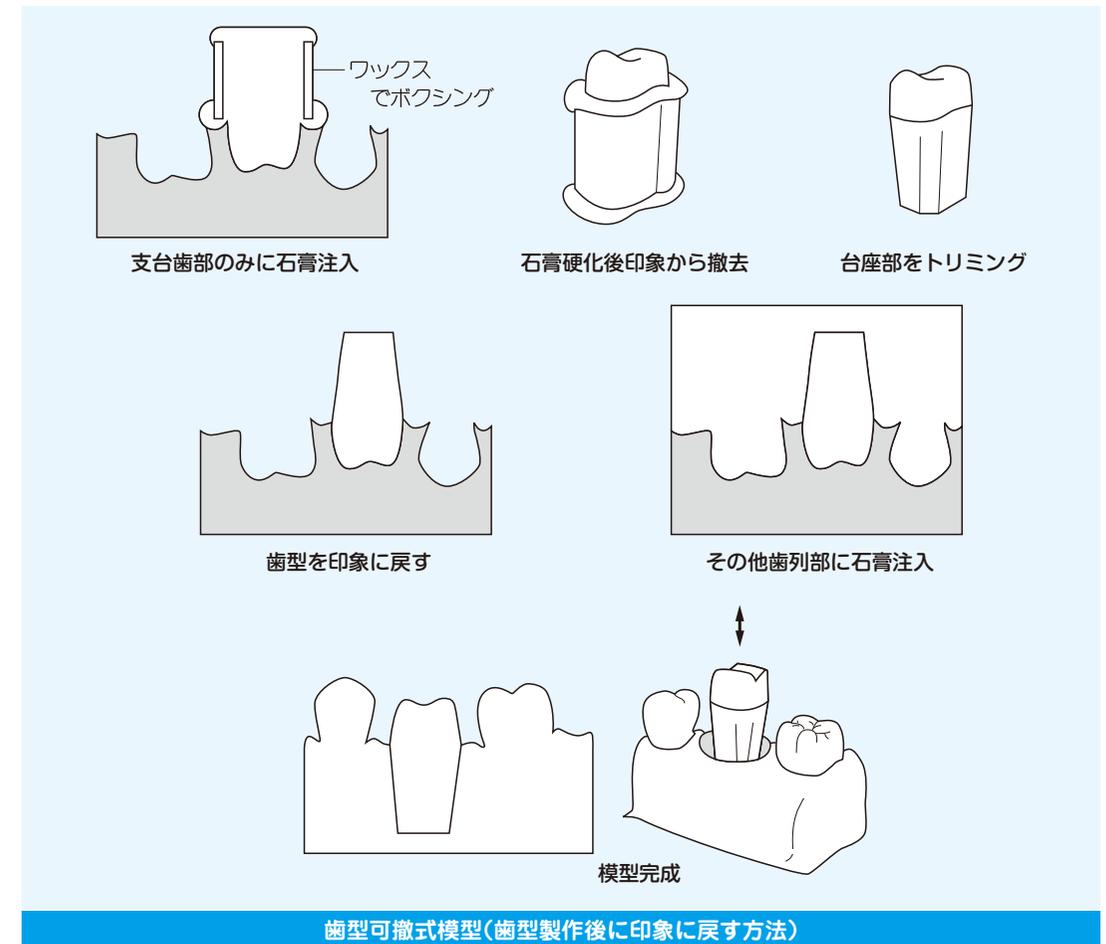
- (1) 印象材に虫ピンなどでダウエルピンを固定.
- (2) 一次石膏の注入.
- (3) 硬化後回転防止の付与.
- (4) 石膏分離剤を、分割する歯型部分に塗布し、二次石膏の注入.
- (5) 歯型の分割(ノコギリ).
- (6) マージン部のトリミング(技工用カーバイドバー, ラウンドバー).



### 2 歯型可撤式模型(歯型製作後に印象に戻す方法)

- (1) 支台歯部だけに石膏注入.
- (2) 石膏硬化後印象から撤去.
- (3) 台座部をトリミング.
- (4) 分離剤を塗布して歯型を印象に戻す.
- (5) その他歯列部に石膏注入.

【注】歯型石膏注入時あるいはトリミング後に基底部に孔をあけダウエルピンを植立する場合もある.



#### 【作業模型の名称】

「クラウンブリッジ補綴学」(医歯薬出版, 2004年第3版)から, 従来の分割復位式と歯型可撤式模型をひとつにまとめて歯型可撤式として分類されている. 国試の過去問を考慮して従来の分類方法も併記した.